**令和５年度 日本水産増殖学会第21回大会開催についてのご案内**

令和5年度水産増殖学会大会を以下の通り開催いたします。昨年に引き続き対面にて開催させていただきます。開催まであまり時間的な余裕はございませんが、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。プログラム等詳細につきましては、参加受付終了後、ホームページに掲載させていただきます。

なお、シンポジウムおよび口頭発表の参加は以下のGoogleフォームからお申し込みください。

1. **日程**

**開催期間：2023年12月2日（土）～3日（日）**

**スケジュール（変更する場合があります）**

**12月２日（土）水産増殖学会シンポジウム**

　12：00　開場

13：15～17：00　シンポジウム

水産海洋学会地域研究集会、福井県立大学と共同開催

「自然の恵みを利用した増養殖研究の新たな可能性を考える～水産海洋学と水産増養殖学のコラボレーション～」

19：00～21：00　懇親会　開始時刻は予定

**12月３日（日）口頭発表・ポスター発表**

8：00　開場

9：00～12：00　口頭発表、ポスター展示

12：00～13：00　ポスター立ち合い

　　　13：00～14：00　総会

　　　14：00～16：00　口頭発表

16：00～16：15　若手優秀講演賞表彰式

1. **開催場所**

**１．シンポジウム・研究発表（口頭発表・ポスター発表）**

福井県小浜市（福井県立大学小浜キャンパス　新講義棟）

<http://www.fpu.ac.jp/kaiyo/access/d152380.html>

1. **懇親会**

合同シンポジウムの修了後、場所未定、費用5,000円程度

1. **宿泊先の情報**

以下の小浜観光協会HPからご確認ください

**https://www.wakasa-obama.jp/stay/**

上記のHPのホテルのうち小浜駅に近いホテル

　　**せくみ屋**　<https://sekumiya.jp>

　　**ホテルアーバンポート**　<http://www.urban-port.jp/urbanport/>

**四季彩の宿 花椿**<http://www.urban-port.jp/hanatsubaki/>

　　**ビジネスホテル 若杉本館**　<https://wakasugi.biz/honkan/>

**詳しくはHPで確認してください**

1. **シンポジウム・懇親会参加申込**

**シンポジウムは水産海洋学科地域研究集会、福井県立大学と共同開催**

**一般公開**

**参加費**：無料

シンポジウム・懇親会は以下のGoogleフォームからお申し込み下さい

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScwXEvDoLZElkyZpkK65fCYnU3pZ0uJ2llPvSW0inyDdz-LxQ/viewform>

**締め切り：11月24日（金）17:00**

1. **研究発表（口頭発表・ポスター発表）参加申込**

参加費：無料

以下のGoogleフォームからお申し込み下さい

[**https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd\_YOX4ZdglBt2c-6C9QXUaJq7Fj01SVtMWhr8x4xwfel3odQ/viewform**](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd_YOX4ZdglBt2c-6C9QXUaJq7Fj01SVtMWhr8x4xwfel3odQ/viewform)

**締め切り：11月17日（金）17:00**

＊フォームに入れない場合は、下記の申し込み時に必要な情報を学会事務局（szoushoku(at)fish.hokudai.ac.jp （at）は@に置き換え）にメールで送信して下さい。

申し込み時に必要な情報：

1. 氏名
2. フリガナ
3. 所属
4. 連絡先電話番号
5. メールアドレス
6. 会員の別〔普通会員、学生会員、賛助、団体、一般非会員、学生非会員〕
7. 参加申込者自身による発表の有無〔有、無〕

＊これ以降は発表有の方のみ

1. 発表タイトル
2. 氏名（所属略記）
3. 希望する発表方法〔口頭発表、ポスター発表〕
4. 学生、若手研究者による発表審査希望の有無　〔有 学生、有 若手、無〕（学生、若手研究者（45歳未満）を対象に優秀口頭発表賞と優秀ポスタープレゼンテーション賞を選出し、表彰させていただきます）
5. **要旨作成要領**

**発表要旨提出期限**：**11月27日（月）17:00まで**に学会事務局（szoushoku(at)fish.hokudai.ac.jp （at）は@に置き換え）あてに送信して下さい。

**研究発表要領**：口頭発表1題15分（発表12分、質疑応答3分、MS-PowerPointファイルを使用）とポスター発表があります（立ち合いは1時間程度）。会場の都合により、発表方法の変更をお願いすることがあります。その際は、申し込み順を加味します。あらかじめご了承下さい。

**要旨体裁**：ファイルはMS-Word形式（口頭発表、ポスター発表共通）

**○○における◆◆の□□解析（14ポイント，ゴシック体）**

東北次郎（東北大院農，中国汕頭大院海事），〇北海太郎（北大院水），
陸奥三郎（青森県産技セ水総研）（12ポイント，明朝体）

【目的】

【材料と方法】

【結果と考察】

＊目的，材料と方法，結果と考察に分けて記載。12ポイント，明朝体，1行30−40字，30行程度

**令和5年度水産増殖学会シンポジウム**

**自然の恵みを利用した増養殖研究の新たな可能性を考える**

**～水産海洋学と水産増養殖学のコラボレーション～**

**日時**: 2024年12月2日（土）13:15～17:00

**場所**: 福井県立大学小浜キャンパス（福井県小浜市学園町1-1）新講義棟・大講義室Ⅱ

**共催**: 水産海洋学会・福井県立大学

**コンビーナー・座長**:富永 修・濵口昌巳・渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

**申込**: Googleフォーム入力（アドレス），締切11月24日（金）

**定員**: 100人（締切日前に定員に達した場合，その時点で締切となります）

司会: 渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

開会挨拶 13:15～13:25

木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長）

佐藤秀一（令和５年度日本水産増殖学会大会委員長）

開催趣旨説明 13:25～13:35

富永 修（福井県立大海洋生物）

座長: 富永 修（福井県立大海洋生物）

1．海洋環境・生態学からみた二枚貝類増養殖のこれまでとこれから

濵口昌巳（福井県立大学海洋生物） 13:35～14:05

2．福井県のバフンウニ漁の実態から見えてきた持続的な資源利用の仕組み

仲野大地（福井県水産試験場） 　　　　14:05～14:25

ポスター発表（高校生など）・休憩 14:25～15:30

座長: 濵口昌巳（福井県立大海洋生物）

3．小浜市のかき類養殖の取り組み

上村洋亮（小浜市里山里海課） ・松下卓也（小浜市漁協）　　　　15:30～15:50

4．福井県立若狭高等学校における探究活動

中村 恵美莉（福井県立若狭高等学校） 15:50～16:10

総合討論 16:10～16:45

座長:富永 修・濵口昌巳・渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

ポスター発表表彰 16:45～16:55

閉会挨拶 16:55～17:00

渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

**開催趣旨：**2022年に福井県立大学に新設された「先端増養殖科学科」は，若狭湾を実験フィールドとして，水産科学，ゲノム科学，環境科学，情報科学の幅広い視点から増養殖学研究を展開する。その中で無給餌養殖を主要テーマの一つに挙げている。無給餌養殖は自然の生産力を利用することから，海洋環境の情報を最大限に活用した持続可能な増養殖システムといえる。しかし，養殖生産を効果的に進めるためには，海洋環境のモニタリングを実施し，現状の把握や時空間変動を予測することが求められる。特に，幼生を自然採苗する場合は，物理環境だけでなく幼生の分布や季節的動態も不可欠な情報になる。無給餌養殖業は，それ自体が生業であり，流通・販売や観光などを通して地域振興の役目を担い，さらには自然環境を五感で感じながら社会活動を学ぶ海洋リテラシーの観点からも重要である。本シンポジウムでは，かき類とバフンウニをとりあげ，地域振興や教育の視点からの事例も紹介し，水産海洋学と水産増養殖学のコラボレーションがもたらす水産増養殖研究の新たな可能性を議論する。